

製品名: CdcA4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08533**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	26kDa

抗原情報

遺伝子名	CDCA4
別名	CDCA4; HEPP; Cell division cycle-associated protein 4; Hematopoietic progenitor protein
遺伝子 ID	55038.0
SwissProt ID	Q9BXL8
免疫原	抗血清はヒト CDCA4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 121-170

背景

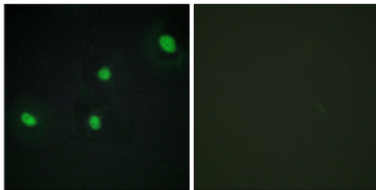
細胞分裂周期関連遺伝子 4 (CDCA4) ホモサピエンス この遺伝子は、E2F ファミリーの転写因子に属するタンパク質をコードしています。このタンパク質は、主に E2F/網膜芽細胞腫タンパク質経路を介して、E2F 依存性転写活性化および細胞増殖を制御します。ま

た、JUN がん遺伝子発現の制御にも機能します。このタンパク質は、特徴的な核有糸分裂装置の分布を示し、前中期から紡錘体の構成に関与し、染色体分離または細胞質分裂に関与するミッドゾーン因子としての役割も果たしている可能性があります。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする2つの選択的スプライシング転写バリエーションが注目されています。2つの偽遺伝子も染色体1上に特定されています。[RefSeq 提供、2014年5月]、機能: E2F / RB 経路を介して細胞増殖の制御に関与する可能性があります。造血幹細胞および前駆細胞系譜への分化誘導の分子制御に関与している可能性がある。誘導: E2F1 による。類似性: 1つの SERTA ドメインを含む。組織特異性: 脾臓、胸腺、精巣、脾臓、肝臓、胎盤、白血球で最も高い発現レベルを示す。肺、腎臓、前立腺、卵巣、小腸、結腸では比較的低いレベルを示す。脳、骨格筋、心臓ではほとんど、あるいは全く検出されない。、

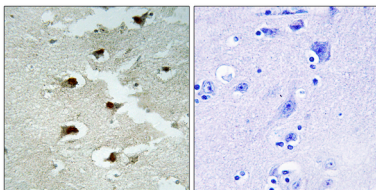
研究分野

-

画像データ



CDCA4 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



CDCA4 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。